

報道関係各位

2008年4月24日
緑内障フレンド・ネットワーク

6月7日「緑内障を考える日」記念

緑内障に関する相談、お悩みにお答えする
「緑内障ホットライン」
6月7日(土)・6月8日(日)開設

緑内障の啓発活動などを主に行う患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子、会員数:1,641名)は、6月7日の「緑内障を考える日」を機に緑内障について考えていただきたく、6月7日(土)、及び6月8日(日)の2日間、緑内障に関するご相談やお悩みにお答えする「緑内障ホットライン」(:03-3272-6971)を開設します。

「緑内障ホットライン」は、患者が抱える病気への不安、医師にはなかなか相談できない悩み事などを少しでも解消していただけるよう、患者会員がボランティアでご相談をお受けします。また、一般の方にも緑内障の早期発見につながるよう、緑内障に関する情報提供も行います。

この「緑内障ホットライン」は、2000年に緑内障フレンド・ネットワークを設立して以来、毎年開設しており、毎回多数のお問い合わせをいただいております。一人で病気に対する悩みを抱えている患者は多く、例年、失明に対する不安や、日常生活への影響に対する対応方法、医師とのコミュニケーションのとり方など、多くの相談が寄せられております。

今回初めて土・日に開催しますので、平日は忙しくこれまでホットラインをご利用いただけなかった皆様にも、ぜひご利用いただきたいと思っております。

今後も、緑内障フレンド・ネットワークは、緑内障啓発活動を行っていくとともに、緑内障の患者さんやそのご家族の心のケアを行い、少しでもお役に立ちたいと考えています。

緑内障フレンド・ネットワーク事務局長 野田 泰秀

緑内障ホットライン 概要

電話番号:03-3272-6971

開設期間:2008年6月7日(土)・8日(日)の2日間

開設時間:9:30~16:00

相談内容:緑内障患者やご家族からの悩み、一般の方からの緑内障に関する質問など。

対応者:患者会員が対応します。専門医が直接お答えするものではありませんので、緑内障であるかどうかの判断、治療法などについてのご相談はお受けできません。

緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)は緑内障の約7割を占めていると言われ、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプです。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためにも、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の啓発などを主に行う患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501

TEL:03-3272-6971 FAX:03-3272-6972

<http://www.gfnet.gr.jp> e-mail: info@gfnet.gr.jp